

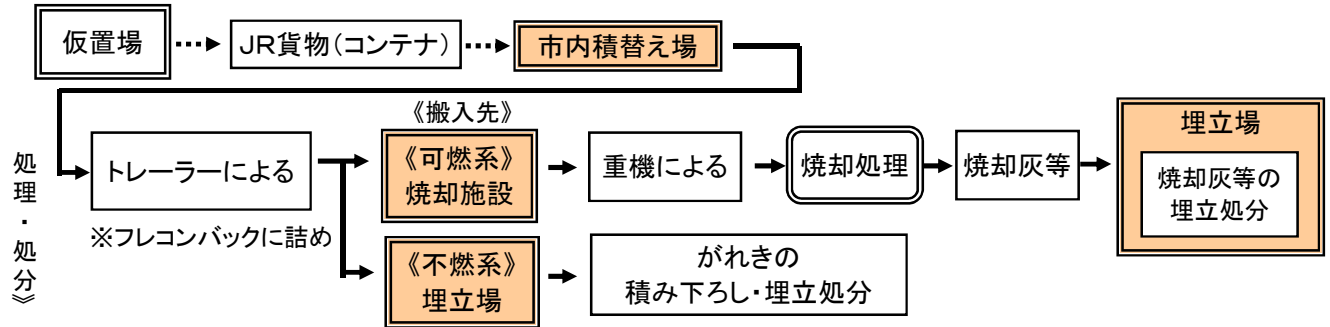
# 議題 1

## 周辺住民及び作業者の受ける放射線量の評価方法について

### 1. 評価方法

#### (1) 廃棄物の受入、処理

廃棄物(がれき)の運搬・受入・処理は、次の方法(想定)で行う。



#### (2) 評価方法及び評価条件の設定

##### 《評価方法》

- ① 線量評価式及び主要な計算パラメータは、文部科学省放射線規制室「焼却処理の評価経路に係るクリアランスレベルの算出に用いる線量評価式について」に基づく。
- ② 評価にあたって、災害廃棄物の放射能濃度及び焼却施設での本市普通ごみとの混合比率は、それぞれ数段階設定する。

##### 《計算条件》

- ① 災害廃棄物中の放射性物質濃度の比率は、 $^{134}\text{Cs}=50\%$ 、 $^{137}\text{Cs}=50\%$ とする。
- ② パラメータのうち、施設規模及び作業時間は本市の現状値を用いる。
- ③ パラメータのうち、飛灰への放射性物質の移行割合は、岩手・宮城県における平均値75%を用いる。
- ④ 埋立場における最終覆土は、2.0mの計画であるが、最低覆土量の0.5mで計算する。

### 2. 人への被ばく影響の評価対象

・※印は、不燃系の処分作業

	作業 者			周 辺 居 住 者		
	被ばく形態	評価	評価しない理由	被ばく形態	評価	評価しない理由
(1) 積替え作業 ※ (市内積替え場)	外部	○		外部 粉じん吸入	×	コンテナの乗替えて粉じん発生がないなど、影響なし
(2) 運搬作業 ※ (焼却施設まで)	外部	○		外部 粉じん吸入	×	コンテナ輸送及び通過時間が短く、影響なし
(3) ごみピット投入作業	外部 粉じん吸入 経口、皮膚	○		外部 粉じん吸入	×	外部への排気がなく、影響なし
(4) 廃棄物の焼却 (排ガスの影響)	外部(ブルーム) 粉じん吸入	×	施設内への 影響なし	外部 粉じん吸入 外部(土壌)	○	
(5) 施設内作業	粉じん吸入	○		粉じん吸入	×	外部への排気がなく、影響なし
(6) 焼却炉内の補修作業	外部、皮膚 粉じん吸入	○		外部 粉じん吸入	×	同上
(7) 積み込み作業(焼却灰)	外部 粉じん吸入	×	自動積み込みで、 影響なし	外部 粉じん吸入	×	同上
(8) 運搬作業(焼却灰)	外部	○		外部	×	通過時間が短く、影響なし
(9) 埋立作業 ※ (焼却灰、埋立がれき)	外部 粉じん吸入 経口、皮膚	○		粉じん吸入	○	
(10) 埋立地跡地利用: 公園利用 (覆土50cm) ※				外部	○	
(11) 埋立地跡地利用: 居住利用 (覆土50cm) ※				外部	○	